

公益社団法人愛知県医師会 第2回(定例)理事会議事録

開催日時：平成25年 4月18日(木) 午後4時20分～午後5時5分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川朝洋 城 義 政 加藤 雅 通

大輪 芳 裕 西山 朗 檜尾 富 二 松尾 清 一 樋口 俊 寛

伊藤 富 士 子 瀬 瀬 雅 明 細 川 秀 一

監事／加藤 茂 丹羽 翼 岩瀬 敬 紀

代議員会議長／杉田 洋 一

代議員会副議長／大野 和 美

欠席者

理事／吉田 貴 伊藤 健 一

議事録作成者 大嶋 卓

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者22名で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議 事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①スポーツドクター愛知県連絡協議会(会長:田島正孝)主催の平成25年度スポーツドクター愛知県連絡協議会研修会の後援について

市川理事より説明があり、審議の結果、承認可決された。

(2) NPO 法人愛知がんネットワーク(理事長 室 圭)主催の県民公開講座の後援について

市川理事より説明があり、審議の結果、承認可決された。

(3) 骨髄バンク普及映画を作る会(代表者 黒岩由香)の行う骨髄バンク普及映画の後援について

市川理事より説明があり、審議の結果、承認可決された。

- (4) 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付審査専門委員会委員の推薦について
市川理事より説明があり、審議の結果、原案のとおり宇野岳人(内科)、長嶋正實(小児科)、小野田卓男(整形外科)、井上真人(精神科)、柘植勇人(耳鼻咽喉科)、長坂智子(眼科)、小澤正敏(外科)、以上7名を推薦することが承認可決された。
- (5) 日本多施設共同コーホート研究(J-MICC 研究)外部評価委員会委員の推薦について
市川理事より説明があり、審議の結果、飯沼参与を推薦することが承認可決された。
- (6) 名古屋市天白区医師会(会長 岩山精三)主催の天白区医師会臨床懇話会への講師派遣について
市川理事より説明があり、審議の結果、大輪理事を派遣することが承認可決された。
- (7) 人事委員会〔4/11(木)〕について
市川理事より、本会職員が事務局就業規則第48条第11号に違反し、同規則第98条に基づく懲戒処分を実施することを人事委員会で決定したことについて説明され、審議の結果、承認可決された。
2. アルコール健康障害対策基本法の制定に対する賛同団体としての参加について
柘木会長より、この賛助団体となればアルコール依存症やアルコール中毒に関する講演会や患者対策、患者教育等が行い易くなることについての説明があり、審議の結果、賛助団体として参加することが承認可決された。
3. 監事会〔5/17(金)〕開催について
可世木理事より説明があり、審議の結果、5/17(金)14:00より開催することが承認された。
4. 愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会 委員の追加委嘱について
大輪理事より説明があり、愛知医科大学医療安全管理室の飯田章人先生に委嘱することが承認された。
5. 第8回愛知県医師会検視立会医死体検案業務研修会の開催について
細川理事より説明があり、今年度は座学を中止し、大阪府監察医事務所での見学実習を実施することが承認された。
なお、城理事より、研修会を年1回開催してはとの意見があったが、細川理事は、先日開催された警察部会幹事会の席上では、次回以降は、災害時に大量に発生す

る検視のケースやシンポジウム形式を導入することを検討したことを報告された。

—協議事項—

6. その他

・豊川市の保険医療機関の自主指導について

榎尾理事より、4/21(日)に豊川市医師会長及び榎尾理事ご自身が現地に赴き、指導を行うことについて説明され、承認可決された。

—報告事項—

1. 中部医師会連合第1回常任委員会〔4/10(水)〕について

柵木会長より、平成25年度中部医師会連合特別委員会については、決定した委員会は社会保険と介護保険であること、そして一般の検視やAiの使用についての各県の実情を把握する為の委員会設置が意見として出たことについて報告され、また医療基本法(仮称)制定に関するシンポジウムが8月10日(土)に本会館で開催されることが併せて報告された。

2. 東海北陸地方社会保険医療協議会総会〔4/9(火)〕について

柵木会長より、資料により当日の内容について報告された。

3. 支払基金幹事会〔4/10(水)〕について

伊藤副会長より、平成25年度委託金の調整について、平成25年度委託金の請求及び返還等状況について、高齢者医療制度等の制度体系、平成25事業年度特別会計事業費勘定予算のポイント、再審査未調整額及び支払保留額に対する取組状況、全国及び愛知県における取組と審査実績について、資料により報告された。

4. 一般社団法人愛知県労災指定医協会平成25年度第1回理事会〔4/4(木)〕について

城理事より、労災・自賠責委員会において東電福島第一原発作業員の、長期的な健康管理を追跡できるデータベースの整備が必要であること、自賠責では資料の中に「交通事故でも健康保険が使えます」という見出しがあり、治療費が半額になると記載されており問題とされたことについて報告があった。

また、5月22日(水)午後2時より第1回定時総会開催が決まり、一般社団法人に移行する初めての総会であり、役員等の承認が予定されていることが併せて報告された。

5. 愛知県赤十字血液センターの輸血用血液製剤の供給体制に関する説明会〔4/4(木)〕

について

瀨瀬理事より、病院から 10 名の参加があったことが報告された。

なお、病院からの出席者が中心であったため、出席者から具体的な内容として、例えば血液の発注に関して、一宮市民病院で朝注文すると、今まで瀬戸から送られ、昼までに届いていたが、注文先が岐阜県になったことから、ストックがないと遅れて届くことがある。地域によっては色々な血液の種類を発注することもあり、注文先のエリアが変更したことで、今後血液のストック量を変える必要がある等の意見が出されたと併せて報告された。

6. 日医公衆衛生委員会〔4/11(木)〕について

瀨瀬理事より、アンケートの具体的内容が決定し、各県医師会・各地区医師会にまもなく送付し、6 月末には集計することになったこと、検討会ではセルフケアマネージメント・ワンコイン健診・胃がんリスク健診（ABC 健診）・胸部写真に関する問題・がん検診などが話題となったことが報告された。

7. 日医環境保健委員会〔3/28(木)〕について

瀨瀬理事より、環境省より PM2.5 の注意喚起のための暫定的な指針・中皮腫登録データベースの構築・水銀条約の進捗状況・医療法人の太陽光発電などについて説明があったことが報告された。

特に太陽光発電については、厚生労働省は積極的な導入を進めているが、自己所有の敷地や建物を業者に賃貸し、対価として発電した電気を使用することや、電気を売却してはいけないという説明であったことについて報告され、大野代議員会副議長より、再生可能エネルギーを今後ますます利用しなければならない中、委員会として積極的な意見が出ていないことについて発言があり、瀨瀬理事は、委員から意見は出ているが、病院の業務として入っておらず、法律上今の段階では実施不可能でもあり、その部分は政治家の判断であると回答された。

8. 各種委員会・部会について

A) 広報委員会〔4/10(水)〕について

稲坂理事より愛知医報の反省、校正班分担の確認、トップ原稿及び表紙作品、広告掲載、会員の欄掲載について協議したことが報告された。

9. その他

・医療安全支援センター(苦情相談センター)平成 24 年度 事例検討会報告集・事例集・会員相談窓口事例集 配布について

大輪理事より、医療安全支援センター(苦情相談センター)平成 24 年度事例検討会報告集・事例集、会員相談窓口事例集が完成したのでご活用いただきたいとの報告があった。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成25年4月18日